

福井市PTA研究大会

第4回いじめ防止標語コンクール表彰式を行いました。

会長賞

小学生の部 和田小学校 小島 由奈さん

「ひろめよう 心の算数 いじめのひき算 えがおのかけ算」

いじわるウィルスにかかると心の病気が広がってしまうよ。そうなる前に毎日笑顔で予防しようね。

私は、先生や友達とすごせる学校が大好きです。この標語を作ったのは、毎日すごす学校がみんなにとっても大好きな場所になって欲しいと思ったからです。

私は家でお母さんが笑っていると、一緒になって笑ってしまうことが多いです。そして、私達の笑顔がお父さんやお兄ちゃんにうつっていきます。一人が二人、二人が四人と増えていって、かけ算に似ているなあと思いました。

クラスや学校でもこの笑顔のかけ算を増やしていきたいです。まずは、仲の良い友達から笑顔を増やしていきたいです。そして、クラス、学校と心のかけ算で笑顔を広めたいです。

笑顔で明るい幸せな気持ちの人が増えれば、その人数分いじめも引き算されると思います。いじめは引き算でゼロに、そして笑顔はかけ算でどんどん増やす、この心の算数も授業の算数と同じようにしっかり勉強していきたいです。

中学生の部 社中学校 中田 凌雅さん

「紡いでいこう 友情の糸 みんなで絡み合えば ちぎれない」

それは、いい事？悪い事？自分されて嫌な事は人にしない。

僕が「いじめ」について思うことは、ほんの些細なことから生まれているということです。人は見た目や性格は違うことは当然だと思います。そんな違いは、お互いに良いところを認め改善していけば良いのですが、気に入らないから自分の思い通りに押さえつける。さらには大勢で一人をいじめるという、「いじめ」にはそんなイメージがあります。

「いじめ」は、いじめる側が軽い気持ちでも、いじめられる側にとっては、とてもつらいと思います。いじめられていたら、先生や家族や信頼できる友達に相談した方が良いと思います。

周りの絆や友情があれば、弱い存在も強い存在に変わっていけるとあって、作品を書いてみました。

福井市PTA研究大会

教育長賞

小学生の部 和田小学校 田嶋 理人さん

「いじめたら かがみにうつる オニのかお」

中学生の部 明倫中学校 福田 遥樺さん

「いじめはね 心を壊す シュレッダー」

福井新聞社賞

小学生の部 和田小学校 ささ木 こうすけさん

「ぼくがいじめをやめさせる。そして、みんなを、なかまにする。」

中学生の部 福井工業大学附属中学校 山崎 洸さん

「言ってごらん心の声 あけてごらん心の扉 君の勇気が第一歩」

入賞作品は市Pホームページ生活環境委員会の活動に掲載されています。



今回、3,957名という多くの生徒・児童の方から応募がありました。ありがとうございました。どの標語も甲乙付け難い内容で、選考するに当たっては大変でしたが、中でも良いと思われる方の標語を選ばさせていただきました。表彰式に来て頂いた皆様有難うございました。おめでとうございます。

至らない事もありましたが無事終わることができました。

福井市PTA研究大会

分科会A

「未知の自分発見 ～きれいな つ・な・が・り～」

講師 吉弘 淳一氏

分科会A 福井県立大学の吉弘先生による講演「未知の自分発見・きれいな つ・な・が・り」エゴグラムの表で今の自分を見つけるというとても楽しい講演会でした。

参加された方々からは、今の自分はどの様に行動すれば、言葉を選べば、子ども・配偶者・家族とよりうまくコミュニケーションを取っていけるかがわかり、参考になった。とか、楽しいお話と参加者同士が交流したりで、今まで参加したことのない楽しい講演会でした。と、うれしい評価を頂いた分科会でした。

